



# mIRaI 通信



～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

## 今度はプロの歌声に酔う



合唱コンクールで、歌声を披露した後、今度はプロの歌声を鑑賞し、そのすさまじい声量と迫力、演技力に酔いしれました。

11日、「オペレッタ ポッカッチョ」を鑑賞しました。中学生のみでなく、小学生、保護者、地域の方々と体育館が満席状態での観劇となりました。

オペレッタとは聞き慣れませんが、オペラと違うのは、貴族のみでなく庶民も楽しめるように、コメディ形式にした「軽歌劇」です。

その通り、舞台では、歌と芝居が入り交じり、軽妙で楽しい劇が展開されました。

学校で行われる劇としては、かなり本格的な舞台装置で、その準備と片づけには中学生のボランティアが大活躍しました。

劇のラスト近くは、観衆も一緒に歌を歌うという演出。「恋はやさしい野辺の花よ」を、みんなで大合唱して舞台を盛り上げました。

このようなオペレッタ。なかなか体験できるものではないと思います。私自身も貴重な体験をすることができ嬉しく思いました。



写真のように準備は本当に大変でした。そのお手伝いをした中学生は本当に良く働いてくれました。これも良い体験ですね。

あくまで陽気なイタリアンの歌劇に触れ、身も心もスッキリしたように感じた秋の午後でした。ご鑑賞くださったみなさん、ありがとうございました。

「この小娘めっ!」「あら、その小娘に夢中なのはだあれ?」…私の一番印象に残ったセリフがこれだっけですから困ったもんだ。でもなかなか日本人には言えないシャレたセリフですよね。ひょっとして私、イタリアン?ポッカッチョならぬボクカズチャン?グラッチェグラッチェ。

余談ですが、困ったのがトイレ騒動記。ご存知のようにトイレ改修工事のため、使われるトイレは限りがあります。こういう行事の場合、外トイレが使えないのは確かに痛い。

そして、会が始まって説明と歌の練習の後の10分間の休憩時間。この時間に何とトイレに急ぐ小学生、中学生に何と多いこと!まさに民族大移動!!

「ホントにしたいのかぁ!」と心の底で叫びながら「はいアッチ、ここからはコッチ」と交通整理。

「トイレ(尿意)」は伝染する」と言う都市伝説を目の当たりにし、伝説が真実であることを確信した秋山でした。

しかし、再開時間までに全員が席につくのですから、人間ってスゴイ(苦笑)!





## エッセイリストはアーティスト？

### 音楽にどっぷり浸った2日間



「秋」といえば1番は「食欲」です(個人的見解)。この時期でないと食べられないものっているいろいろありますよね。栗ご飯とサンマなんて最高です(個人的見解)。

音楽も秋はいろんな形で演奏されることが多い季節です。なぜなのでしょうね？きっと食べ物と関係してるんでしょう(個人的見解)。YAHOO!で検索してみると、次のような理由のようです「夏が終わり、気候的にも涼しくなった秋は集中力が必要な活動をするのにも適している季節といわれています。また『食欲の秋』『スポーツの秋』ともいわれるように、五感で季節を味わうことで心が豊かになり、芸術に挑戦する余裕も生まれるそう。」ということらしいのです。というわけで、今年も開催されました合唱コンクール。伝統も大切ですが、音楽の教員も変わって3年目そろそろ新しい風を吹き込むことも必要なので、おそらく10年くらい続いたのだと思うのですが課題曲を変えました。講評でも話しましたように、「～新たなレジェンドを君たちから～」と3年生に伝えました。それに応えようとしてくれた3年生には本当に感謝です。今年も3年生が頑張ってくれて「やった!」と思える合唱コンクールになったと思います。各クラスの実行委員さんご苦労様でした。そしてクラスのみんかも頑張ってくれたからこそすばらしいステージになったのです。休みが明けて、11日(火)は芸術鑑賞でした。もう朝からバタバタで大変でした。なかなか県内ではあんな本格的なオペレッタやオペラを観るチャンスがないですよ。演者の方の発音や発声は明確でとても聞き取りやすいと思いました。本当に貴重な体験ができました。また、指揮者の角さんは2009年まで日本オペレッタ協会の全ての公演において、指揮者または合唱指揮者として活躍されていたそうです。その世界では重鎮なんですね。「芸術の秋」にふさわしい2日間でした。大きな学校行事も終わり、これから秋の夜長は勉強かな。そういえば中間テストがもう目の前です。生徒のみんな「FIGHT!」です。

今回のエッセイリストは森義明先生。言わずと知れた伊里中の誇るピアニストです。合唱コンクール、芸術鑑賞会、さらには2年主任としてチャレンジワーク、生徒指導主事としての仕事と、ここのところ怒濤の仕事ぶりでした。そんな忙しさが一段落してのエッセイリストです。森先生らしいユーモアあふれる内容がいいですね。ちなみに私は、サンマに豚汁派です(笑)。

## 作文・ポスターの入選者の連絡がありました

明るい家庭づくり作文

健全育成啓発ポスター

優秀賞 1年 延兼穂乃香  
佳作 2年 森本日向子  
3年 川中 万実



最優秀賞 1年 山下 銀河  
2年 根田 唯花



### 二十四節気 寒 露

寒露(かんろ)とは、露が冷たく感じられてくる頃のこと。空気が澄み、夜空にさえざえと月が明るむ季節です。

初候「鴻雁来る(がんきたる)」10月8日～12日頃

雁が北から渡ってくる頃。その年初めて訪れる雁を、初雁(はつかり)と言います。

